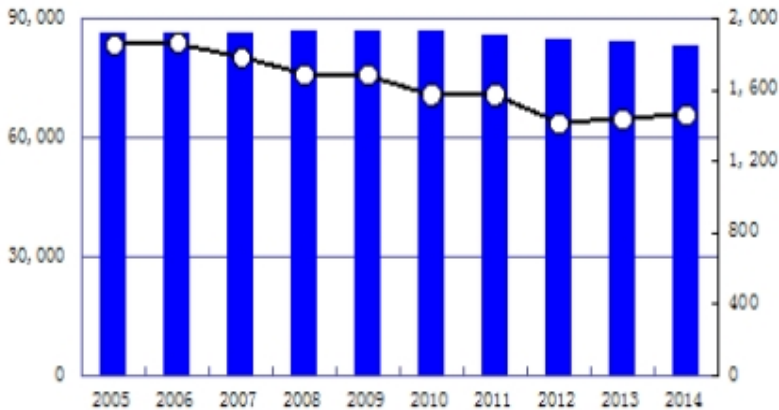


## 【普及委員】平成26年度活動報告および平成27年度活動計画

### 目的

滋賀県下におけるミニバスケットボール競技人口の減少に歯止めをかけ、さらに普及を目指して、創意・工夫した活動を展開することにより、競技人口の増加を図ることを目的とする。

### 児童数と競技人口推移(過去10年)



#### 【2005年と2014年を比較】

- ・児童数: 3.5%減少(-3009人)
- ・競技人口: 21.1%減少(-391人)
- ・減少比=約6倍  
(棒: 児童数、折線: 競技人口)

※県児童数「滋賀県HP / 学校基本調査より」

### 普及委員構成

委員長: 児玉庄次(理事)

田中敦美(理事長)、北脇和弘(理事)、笹木豊(理事)、山本茂雄(理事)

志富田直喜(理事: 事務局)

山本祐己(1B長)、藤塚太郎(2B長)、青山和展(3B長)、小田純二(4B長) 計10名

### 平成26年度の活動報告

- ・児童数および競技人口の推移と現状把握。
- ・普及に関する県下チームの実態把握(アンケート調査の実施)と次年度活動の方向性を整理。(アンケート結果の分析)
- ・平成27年度における具体的活動の検討。

※H26.12.23の第1回会議から計3回の会議を実施

### 平成27年度の活動計画

- ・メディアの活用および企業の協力を獲得し、ミニバスケットボールが【噂になる活動】を実施する。  
※びわこ放送による、CM等の放送  
※有名店舗でのポスター掲示等
- ・多くの子供(入学前含む)や大人(保護者)が、ミニバスケットボールに【触れる活動】を実施する。  
※大規模なミニバス体験会(地域単位)

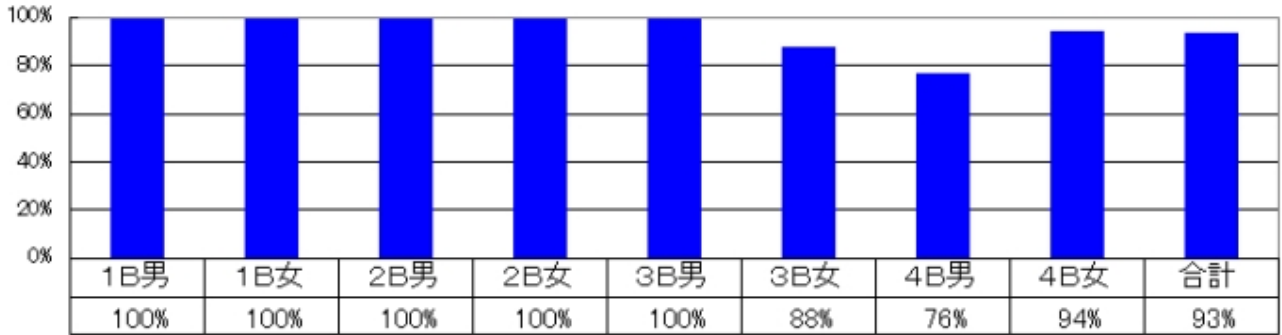
☆☆ 競技人口1割増(1チーム1.5人)を目標とする ☆☆

# 【普及委員】 アンケート調査結果

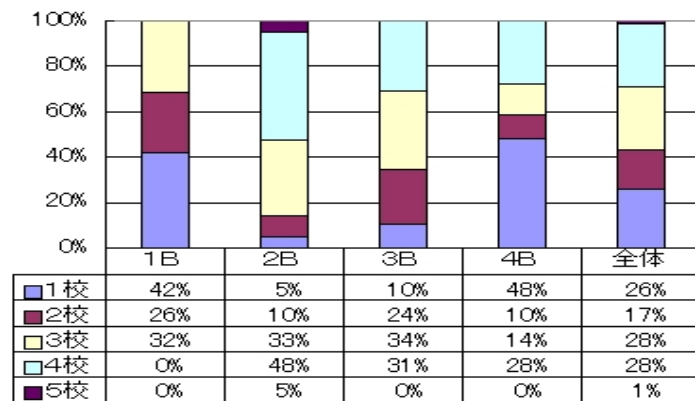
## アンケート提出状況

提出状況	1B男	1B女	2B男	2B女	3B男	3B女	4B男	4B女	合計
チーム数	7	12	10	11	15	16	17	17	105
提出数	7	12	10	11	15	14	13	16	98

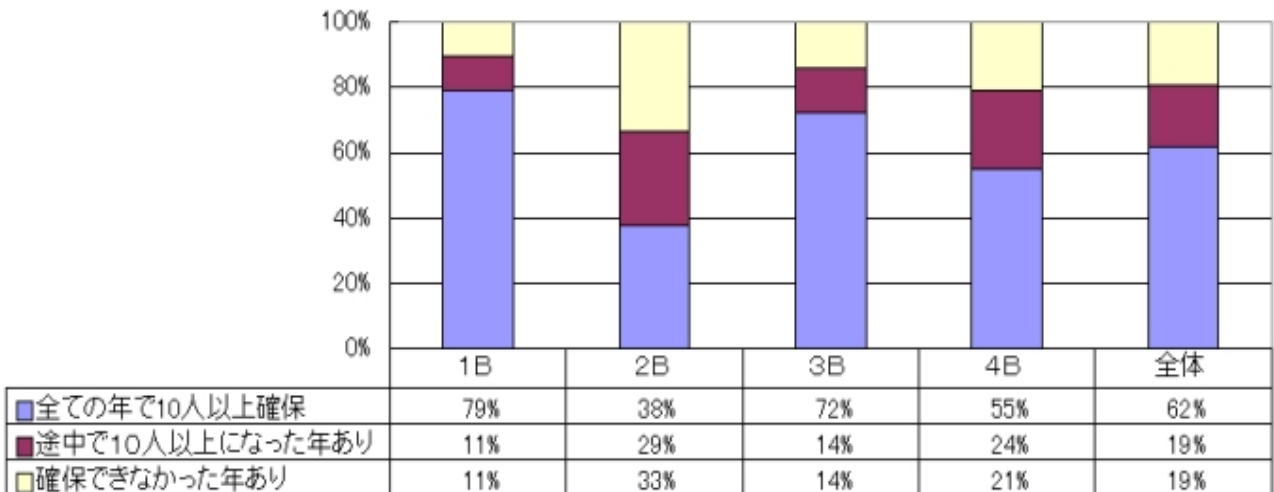
提出率



## 質問1: 貴チームは、現在何校編成ですか？



## 質問2: 公式戦における登録人数は10名以上ですが、過去5年間についてお聞かせください。

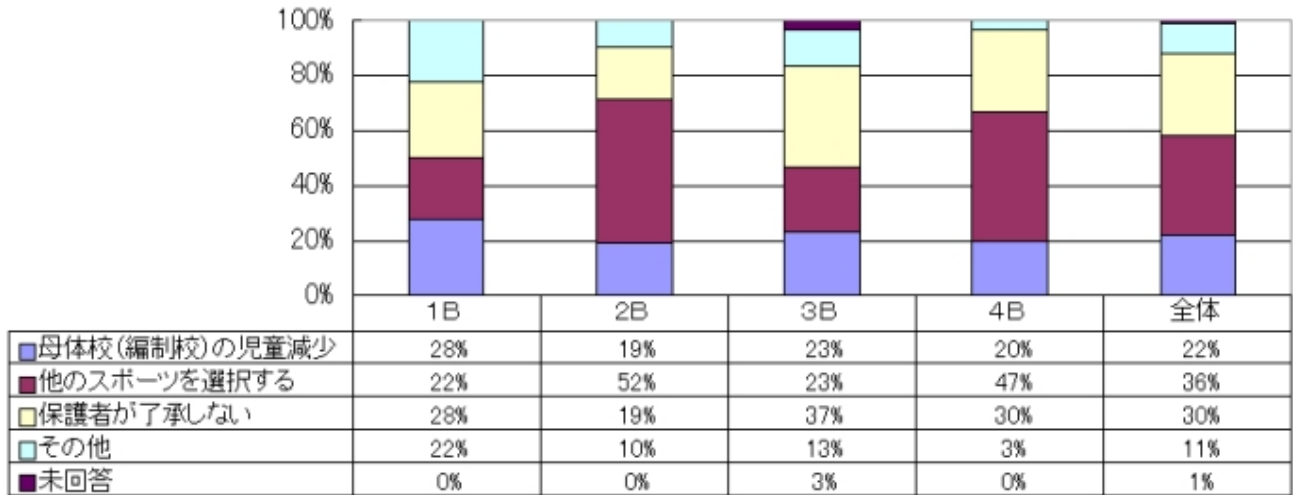


## 【普及委員】 アンケート調査結果

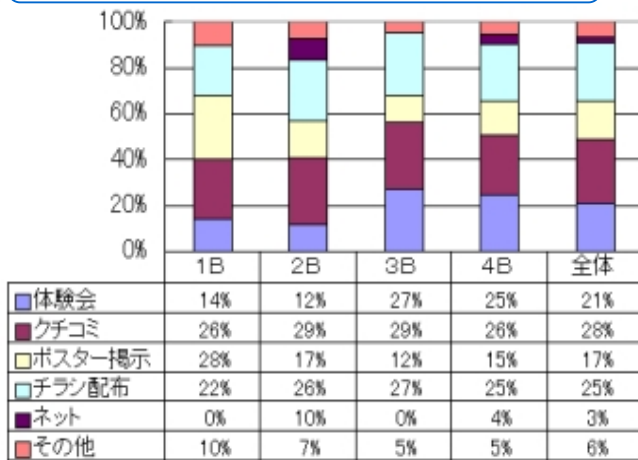
2

質問3:近年のミニバス競技人口は、減少を続けています。

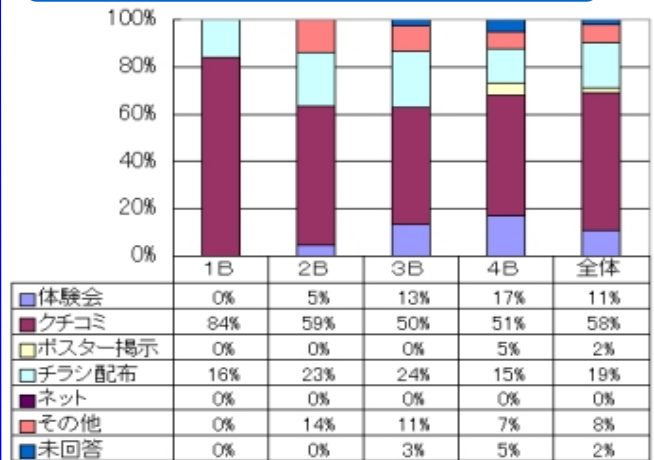
貴チームで部員数が伸び悩んでいる原因があるとすれば何が要因と考えますか？



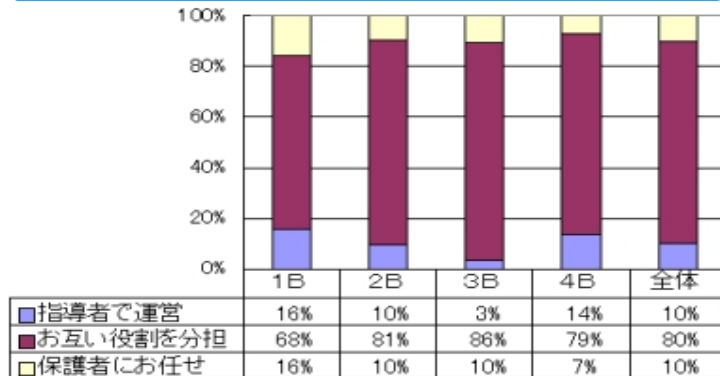
質問4:部員の募集方法をお聞かせください。  
(指導者回答)



質問6:ミニバスケットボールがあることを  
どこで知りましたか？(保護者回答)



質問5:チーム運営における保護者の協力についてお聞きします。



### 【質問4、6】からの考察

- ・募集方法は、ほぼ均等に実施されている。
- ・保護者がミニバスを知るきっかけは、**クチコミ**が約**6割**を占めている。

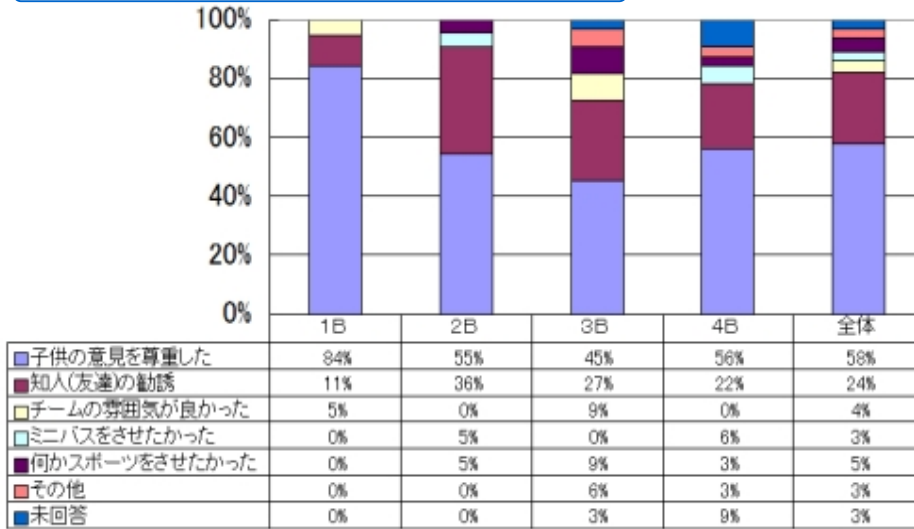
ミニバスを知ってもらうには、人の目に触れる機会を創出し、クチコミを増加させることが有効的である。

**☆☆噂になる活動の実施☆☆**

## 【普及委員】 アンケート調査結果

3

質問7: 入部を決めた理由をお聞かせください。



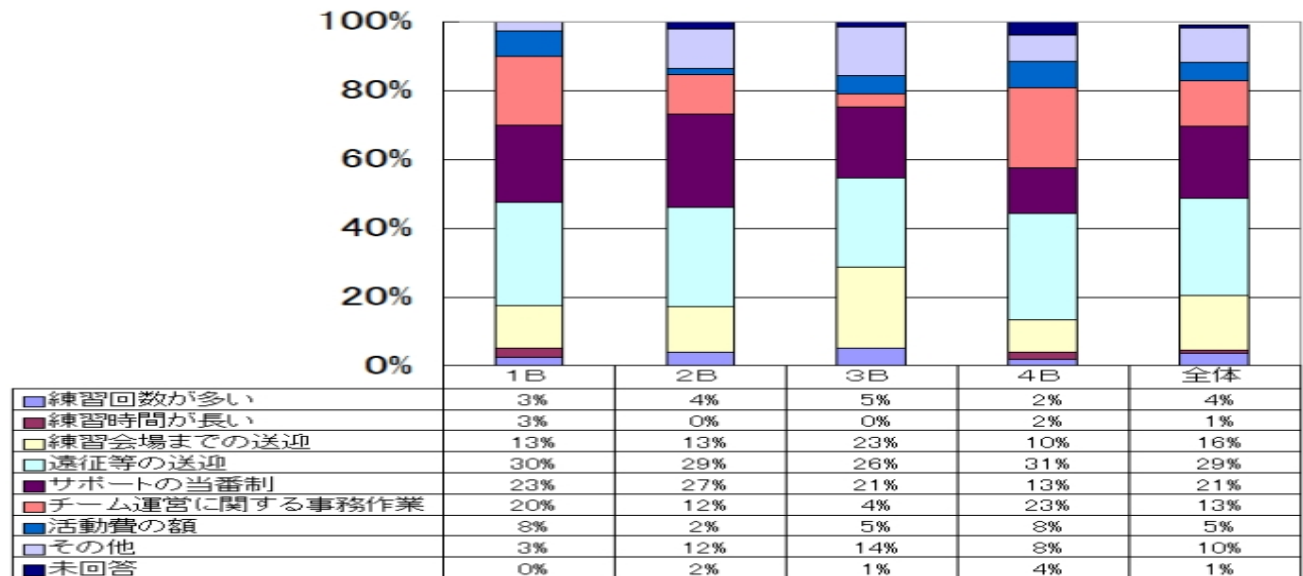
### 【考察】

・「子供の意見を尊重した」と「知人(友達)の勧誘」が約8割を占めている。

ミニバスを「やりたい！」ミニバスは「楽しい！」と思う機会を増やすことが必要である。

☆☆触れる活動  
の実施☆☆

質問8: ミニバス活動の中で、負担を感じることは何ですか？



質問9: 1部員あたりの年間活動費(部費、遠征費、チームTシャツ等々)についてお聞かせください。

